



## どうなったの？ 東福間駅周辺地域の活性化

写真はすべて東福間駅周辺地域の活性化に向けて調査をおこなった宗像市日の里団地の活性化の取り組みです。



### ●東福間駅周辺地区の活性化は

平成19年に東福間および神興東地域の両郷づくりから請願が出され進められることになりました。平成30年に駅周辺の利活用に関する検討委員会を設置、令和2年に方向性が示され、民間導入による東福間団地側の駅前に買物施設、東部処理場の利活用、若木台



●緑豊かな共有の庭が設けられた戸建住宅

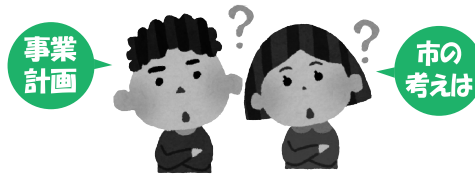
側を結ぶ橋梁の設置や駅東口の整備が令和9年度を目標に進められています。



●日の里団地を走るデマンドバス

### ●拠点整備の方針は

都市計画マスタープランの拠点整備の方針では、津屋崎地区は観光資源を活かした活性化、東福間駅周辺地区は若い世帯の定住促進による活性化を目指し、津屋崎地域と東福間駅周辺地域は



事業計画

市の考えは

地域拠点として位置づけられ、計画は進められています。

### ●宗像市日の里団地では

日の里団地は昭和41年～45年に当時の住宅公団（現UR）によって開発された約217.6haの団地では高齢化が進み、平成25年から集約型都市構造を目指して日の里団地の再生が進められています。その内容はURの建物10棟のうち4棟を解体撤去し、緑豊かな共有の庭が設けられたコミュニティ創造型の住宅64戸が新設され、うちURの建物1棟にはコミュニティカフェやDIY工房、保育室、ブリュワリーなどが設けられ、地域の人々が集まりやすいコミュニティ拠点と緑豊かな居住空間を組み合わせたハイブリッド型の団地再生やデマンドバスの運行などが官民連携で取り組まれています。



●URの建物1階を再利用、入居したDIY工房

### ●次の50年につなげる取り組みを

日の里団地は世帯数5,443世帯・人口11,828人（H30年12月現在）、一方で東福間駅周辺は東福間団地・若木台団地・桜川・あけぼの団地など合わせると世帯数は6,336世帯、人口14,118人（R5年7月現在）となって



←特定非営利法人が発行した書籍

ひのさと記憶プロジェクト活動の紹介リーフレット↓

います。この団地一帯を対象に、公共施設（下水処理場等）の利活用、交通対策など含め公益法人等を立ち上げるなど、官民連携で取り組むことが必要と考えます。東福間団地は昭和40年～41年に開発、その後若木台の開発。50年が経過する両団地の歴史を引き継ぎながら、次の50年につなげる取り組みをして欲しいものです。

こちらのQRコードから榎本博議員の一般質問の録画が視聴いただけます。パソコンは福津市議会でご覧ください。

